

# ランダムサンプリングと乱数データの作成

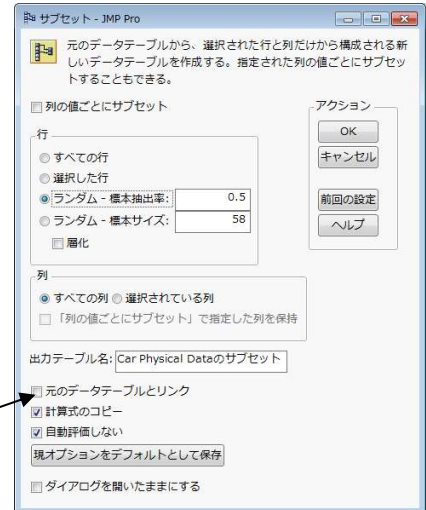
この資料では、JMP®でのランダムサンプリングと乱数データの生成方法を説明します。

## ランダムサンプリング

1. JMP のデータテーブルから、**テーブル > サブセット**を選択します。
2. どのようにサンプルを選択するかを指定します：
  - **ランダム - 標本抽出率** (割合を指定)
  - **ランダム - 標本サイズ** (希望の標本サイズを指定)
  - 変数の層別にサンプルを選択するには、**層化**にチェックを入れ変数を選択します。
3. 列の枠内で、**すべての列**が**選択されている列**を選択します。
4. **OK**をクリックして、ランダムサンプリングを実施します。

JMP は元のデータテーブルのサブセットを作成します。サブセットを元のテーブルにリンクするには、**OK**をクリックする前に**元のデータテーブルとリンク**にチェックを入れます。

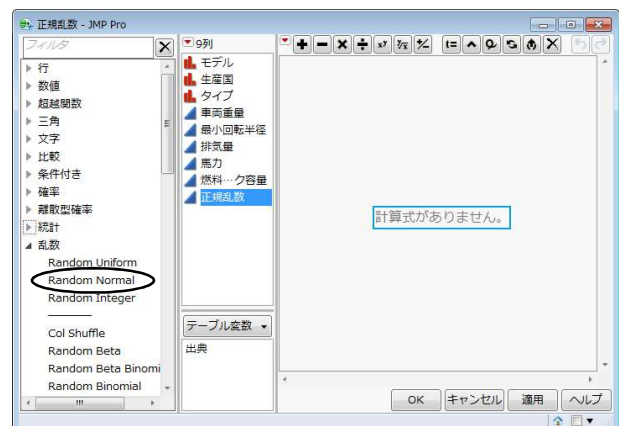
例: Car Physical Data.jmp (ヘルプ > サンプルデータ)



## 乱数データの作成

手動での計算式の作成:

1. **列 > 列の新規作成**を選択します。
2. **列名**に列の名前を記入します。ここでは**正規乱数**と命名します。
3. **列プロパティ**をクリックし、**計算式**を選択すると **JMP 計算式エディタ**が起動します。
4. 左側の関数リストで**乱数**の横の灰色のアイコンをクリックし、使用したい分布を選択します。ここでは **Random Normal** を選択します。
5. **OK**をクリックします。



JMP は正規乱数データをシミュレートした新規の列を作成します。

すぐに計算式を作成:

データテーブル上で連続変数の列を右クリックして、**計算式列の新規作成 > 乱数 > 正規乱数**を選択します。

計算式を含む新規の列がデータテーブルに追加されます。計算式の内容の確認や修正を行うには、新規に作成された列の列ヘッダーを右クリックして、**計算式**を選択します。

Car Physical Data	燃料タンク容量	正規乱数
1	13.2	-0.944180038
2	18	1.4381386794
3	21.1	-0.365238324
4	15.9	-0.199099981
5	15.9	-0.298487491
6	16.4	-0.663731413
7	21.1	0.9178099111
8	15.7	1.4905097439
9	18	-0.354655356
10	18	2.9836162285

シミュレートされた標準正規乱数です。

列パネルで変数名の隣にある太字の+は、正規乱数列に計算式が保持されていることを示します。